

第 7 5 回山口県産業衛生学会 山口県医師会産業医研修会

日 時 令和 7 年 1 月 26 日 (日) 9:30~16:30
場 所 山口県総合保健会館 2F 「多目的ホール」(山口市吉敷下東 3 丁目 1-1)
対 象 日医認定産業医等
定 員 250 名 (超過した場合も受け入れ可能)

メインテーマ「化学物質等への健康障害対策のあり方の変遷から考えるリスクマネジメントの未来」

～作業環境管理・作業管理・健康管理の再構築を模索する～

9:30

開会挨拶

9:35~10:35

基調講演

座長：山口県医師会副会長 中 村 洋

「(仮) 物質特性を踏まえたリスクアセスメント対象物健康診断

-自律的管理の時代を担う産業保健専門職に必要な視点と思考法-

産業医科大学 産業生態科学研究所 職業性中毒学研究室 教授 上野 晋

10:45~11:45

特別講演

座長：山口県産業医会 会長 塩 田 直 樹

「労働衛生行政の動向について」

山口労働局労働基準部健康安全課 課長 梅 本 賢 治

12:15~13:00 昼食 (11:45~12:15 山口県産業医会総会)

13:00~14:00

教育講演

座長：山口県産業医会 監事 (事業)

井 手 宏

「グローバルな視点も踏まえた化学物質対策の未来

-職場の健康と未来を守る産業医と産業衛生技術職のコラボレーション-

ENEOS 株式会社 環境安全部産業衛生グループ チームリーダー 森 分 勝 人

14:10~16:10

パネルディスカッション

座長：第 75 回山口県産業衛生学会学会長 前 野 孝 明

産業医科大学 産業生態科学研究所 職業性中毒学研究室 教授 上 野 晋

「(仮) SDS を基点としたリスク特定から、衛生委員会での審議へ -自律的管理の事例討論-

目的・意義：産業医が法の変遷を踏まえて、事業所とともに化学物質の自律的管理に関わる

パネリスト 1：三井化学株式会社 衛生管理者 河 野 亮

パネリスト 2：堤労働衛生コンサルタント事務所 嘱託産業医 堤 雄 介

パネリスト 3：セントラル硝子(株)宇部工場 管理部管理課 診療所 産業保健看護職

徳永 貴代子

16:20

閉会挨拶

【取得できる単位】

日本医師会認定産業医制度 ※基礎研修の単位は取得できません。

(1) 基調講演・教育講演：生涯研修 専門 各 1 単位

(2) 特別講演：生涯研修 更新 1 単位 (3) パネルディスカッション：生涯研修 専門 2 単位

日本医師会生涯教育制度：5 単位

基調講演 CC17: 1 単位 特別講演 CC06: 1 単位

教育講演 CC17: 1 単位 パネルディスカッション CC17: 2 単位